

創立131周年

いしき

学校だより第11号
鹿児島市立伊敷小学校
発行：令和6年2月22日

児童数 392人

学校教育目標「豊かな心を持ち、たくましく、主体的に行動する子どもの育成」

1月、2月、…そして3月、巣立ちの時へ

校長 堀之内 尚史

「一月往ぬる二月逃げる三月去る」（1月は行く、2月は逃げる、3月は去る）という諺がありますが、本当にあつという間に過ぎてしまうように感じます。「何で2月は短いのか？」誰もが思うことですが、現在の暦は2,000年以上も前にローマで作られ、約400年前に改良されたものだそうです。昔のローマの習慣が色濃く、3月に始まり2月に終わる暦で、その後何度も作り変えられていくうちに、30日と31日の月、365日に調整するために28日と29日の月が設けられ、最後の月である2月が短くなったそうです。

日本の習慣では、明治の学制公布では9月入学だった学校が、その後、会計年度が4月に始まり3月に終わる形に定められたことによって、4月入学に統一されたという経緯があるようです。様々な議論はありますが、現在のところ4月入学、3月卒業という形なので、1月から3月は一年のまとめや締めくくりで慌ただしく過ぎてしまい、4月が新たな学校・学年のスタートとなります。

学校では、朝から学級ごとに縄跳びを楽しんでいる子供たちの姿が見られたり、卒業式の練習をしている6年生の声が聞こえてきたりしています。17日(土)には、金管バンドの「ハッピーブラスコンサート」が開かれ、今年は人数制限なしで、たくさんの皆さんと一緒に子供たちの一生懸命な演奏を聴くことができ、感動しました。31人中15人が6年生ということですが、寂しくなりますが、中学校でも頑張ってくれるものと思います。

6年生の卒業までのカウントダウンが19日となり、人生で一番長い6年間の小学校生活を終える日が、日一日と近づいてきました。中学校に向けて力を付け、5年生にしっかりと伊敷小の歴史と伝統をつないでほしいと思います。

16日(金)に開かれたスクールゾーン委員会では、見守り隊をはじめ地域の皆さん、警察の方々による子供たちの登下校の見守りに改めて感謝することでした。3月の卒業・修了を無事迎えられるように、みんなで生活・交通・災害の安全を守っていきましょう。

3月

主な行事予定

4月

- | | |
|--------------------------|-----------------------------------|
| 5日(火) 学校運営協議会 | 8日(月) 新任式・始業式、入学式 |
| 7日(木) 学校施設開放運営協議会 | 15日(月) 1年生給食開始 |
| 8日(金) 6年生を送る会、お別れ遠足 | 16日(火) 学級懇談会 |
| 学校給食物資納入業者契約会 | 18日(木) 【6年】全国学力・学習状況調査 |
| 11日(月) 見守り隊への感謝の気持ちを伝える会 | 23日(火) 家庭訪問(河頭、飯山方面) |
| (↑12日から11日に変更になりました) | 24日(水) 家庭訪問(仮屋) |
| 11日(月) 米盛文庫運営委員会 | 25日(木) 家庭訪問(肥田、新村方面) |
| 20日(水) 祝 春分の日 | 26日(金) 家庭訪問(脇田下、田入道・長井田、宇都、校区外方面) |
| 22日(金) 卒業式(※1~4年生は休み) | 30日(火) 家庭訪問(脇田上、伊敷NT) |
| 25日(月) 修了式、辞任式 | |

※ 3月、4月の土曜授業はありません。

※ 行事については予定ですので、変更することもあります。

※ 4月は行事が多いため、ご家庭に関わりのあるものを中心にお知らせします。他に身体計測、視力測定、検尿、眼科検診、歯科検診、避難訓練等もあります。

令和5年度「鹿児島学習定着度調査」結果概要について(お知らせ)

令和6年1月16日(火)、17日(水)に、鹿児島県の小学5年生及び中学1・2年生を対象にした「鹿児島学習定着度調査」が実施されました。本校の結果等についてお知らせします。

1 調査の目的

新しい学習指導要領において、身に付けることが求められている基礎的・基本的な知識・技能や思考力、判断力、表現力等に関する学力状況を把握するとともに、児童の学習に関する意識や学び方などの学習状況を把握します。また、本校の課題を明確にし、教員の指導法改善を図るとともに児童の学力向上を図ります。

2 調査内容【対象学年…5年生児童】

(1) 教科に関する調査(国語・社会・算数・理科)

ア 5年生12月終了程度まで(5年生だけの問題ではない。)の学習範囲

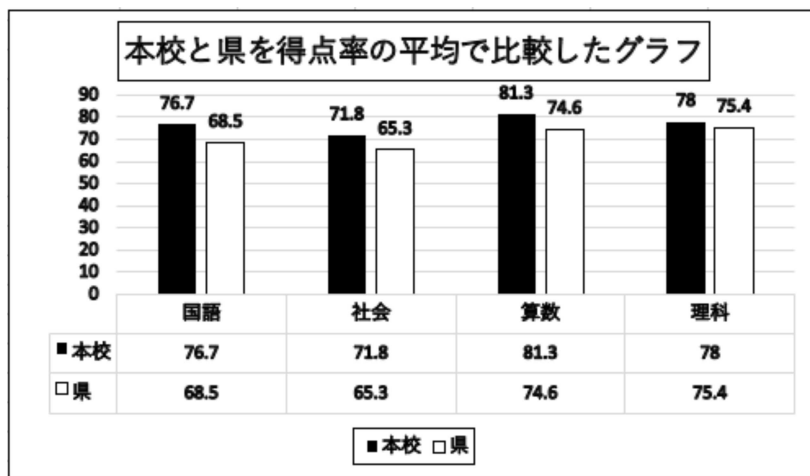
イ 学習指導要領において身に付けることが求められている知識・技能についての内容の調査【基礎・基本】

ウ 文章と図、表、グラフ、資料等を関連付けたり、根拠を元にして自分の考えを記述したりする内容、習得した知識・技能を日常生活の場面で活用していく内容の調査【思考・表現】

(2) 児童質問紙調査(児童の学習に関する意識や学び方などの学習状況の調査)

3 教科に関する調査の結果概要

(1) 全体の傾向：令和6年2月5日速報値



(2) 国語の結果(○成果、●課題)

- 敬語の使い方、慣用句の意味
- 文の中での主語と述語の関係や修飾と被修飾の関係
- 文と文との意味のつながりを考え、接続後を使って内容を分けて書くこと

(3) 社会の結果(○成果、●課題)

- 我が国の国土の位置や領土の理解
- 文や資料から分かることを根拠をもとに説明すること

(4) 算数の結果(○成果、●課題)

- 文を読み取り、求めること
- 示された式や図形の面積の求め方などの意味や説明すること
- 単体量当たりの大きさの理解

(5) 理科の結果(○成果、●課題)

- 川の浸食の作用や川の上流と下流の様子
- 提示された数値やグラフの読み取り
- モーターの回る様子と乾電池のつなぎ方との関係付け

4 児童質問紙調査

- ・ 「自分にはよいところがある」と回答している児童は96%、「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」と回答している児童は98%であった。
- ・ 自分たちが発表したり友達の発表を聞いたりする授業、タブレットやパソコン、電子黒板を活用した授業にやりがいを感じている児童が多い。
- ・ 家庭でインターネットを利用した遊び(スマホゲーム、SNS、動画等)を1日当たりに平日30分～2時間、土日は2～3時間している児童が多い。4時間以上している児童もいる。

5 今後の取組

- ・ 説明文や資料(地図、グラフ、表など)から分かることを根拠として、自分の考えを表現することを積極的に取り入れる。
- ・ 読み取った事柄を、身近な日常生活に置き換えられるよう考えさせる。